**宇佐美の独移籍、チームは容認　Ｇ大阪社長「あとは本人」**

　Ｊ１のＧ大阪の山内隆司社長は11日、エースで日本代表ＦＷの宇佐美貴史にドイツ１部リーグのアウクスブルクから獲得オファーがあったことを認め「あとは本人が決めること」と移籍を容認する意向を示し、今月中にもドイツ再挑戦が決まる可能性を示唆した。

　宇佐美は2011年夏に期限付きで移籍した強豪バイエルン・ミュンヘンに続き、ホッフェンハイムでも力を発揮できなかったが、13年途中に復帰したＧ大阪で復活を遂げた。この日、市立吹田スタジアムでの湘南戦後に取材に応じた山内社長は、移籍が決まれば、第１ステージ最終戦である25日の名古屋戦（吹田スタ）で壮行のセレモニーを催すことも考えているという。〔共同〕